

新発想。肌にもプロテインの時代へ。

豊かな表情をサポート※1し、

たくましく満ち満ちた※2肌を目指す、プロテイン配合※3美容液

『リンクルショット ジオ セラム プロティアン』誕生

株式会社 ポーラ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：及川 美紀）は、「リンクルショット」ブランドより、豊かな表情をサポートし、たくましく満ち満ちた肌を目指す、プロテイン配合美容液『リンクルショット ジオ セラム プロティアン』（40g ¥11,000<税抜 ¥10,000>、リフィル 40g ¥10,450<税抜 ¥9,500>）を2023年1月1日に発売します。

リンクルショットブランドは、世界中の人々に、明るい未来を届けたいという想いで20年以上、独自の研究を続けています。私たちは、誰もが感情のままに、いきいきとした豊かな表情で過ごすことで、自信が湧き、活発なコミュニケーションが生まれる社会を目指しています。そこで今回、新たに着目したのが、「肌※4のプロテイン密度※5」です。

◆『リンクルショット ジオ セラム プロティアン』の特長

【理論】肌のプロテイン密度に着目。豊かな表情をサポートし、たくましく満ち満ちた肌を目指す、プロテイン・ダイナミズム理論を採用。

【配合成分】タンパク質(プロテイン)を含む、ポーラオリジナル複合保湿成分「Sプロテインリキッド※6」を配合。肌アレを防ぐ：有効成分グリチルリチン酸2Kを配合。

うるおいによるハリ感をサポート：ポーラオリジナル複合保湿成分「モーションSリキッドN」、ポーラオリジナル複合保湿成分「NEREリキッドN」、保湿成分「サクラ葉抽出液」を配合。

みずみずしい透明感をサポート：ポーラオリジナル保湿成分「YACエキス」「EGクリアエキス」を配合。

【処方】肌の表情圧※7に着目し、伸び縮みする性質のベールが表情の動きにフィットすることを目指した、業界初の処方「モーションフィットベール」を開発し、採用。

※1：角層の柔軟性のこと ※2：うるおいによる ※3：複合保湿成分Sプロテインリキッドの構成成分である加水分解ローヤルゼリータンパク液

※4：角層 ※5：肌におけるタンパク質の量のこと。

※6：ユキノシタエキス、ヒキオコシエキス-1、加水分解ローヤルゼリータンパク液のオリジナル複合成分 ※7：表情の動きによって肌にかかる力のこと



全国のポーラビューティーディレクター、コスメ&エステショップ「ポーラザビューティー」約590店舗を含む約3,200店のポーラショップ、旗艦店「ポーラギンザ」、全国有名百貨店等ポーラコーナー67店舗（2021年末時点）、日本国内空港免税店コーナー12店舗、ポーラ公式オンラインストア（net.pola.co.jp）にてお取り扱いします。海外では、中国大陸・香港・台湾・マカオ・タイランド・シンガポール・マレーシアの7つの国と地域、中国（海南島）・韓国・ベトナム・シンガポールの免税店にて順次発売予定です。

2023年1月1日発売

リンクルショット ジオ セラム プロティアン

【販売名：ポーラ WRS セラム N】

【医薬部外品】美容液

40g ¥11,000（税抜 ¥10,000）

リフィル 40g ¥10,450（税抜 ¥9,500）

- ・アレルギーテスト済み（全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません）
- ・乾燥による小じわを目立たなくします。（効能評価試験済み）
- ・有効成分：グリチルリチン酸2K（肌アレを防ぐ）

【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ ブランドクリエイティブ部 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3

TEL：03-3494-7119 FAX：03-3494-6198

【お客さまからのお問い合わせ先】

ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111

Wrinkle shot

新発想。肌にもプロテインの時代へ。

新しい毎日をすすむ、あなたへ。
もっと健やかに。もっと表情豊かに。
日々の生き方を見つめ直す、すべての人へ。

シワ研究のパイオニアとして、
ポーラは独自のシワ研究を続けてきました。
だからこそ、たどり着いた新事実。
それが、「肌のプロテイン密度」です。
表情圧などの負荷により、肌のプロテイン密度が変化。
肌のしなやかさが減り、表情にまで影響を及ぼす。

今こそ、肌に新しいメソッドを。
リンクルショットシリーズから、
「ジオ セラム プロティアン」、誕生。
瞬時に肌に広がっていき、業界初の
モーションフィットベールを形成します。
表情をサポートし、たくましく満ち満ちた肌を。

変化する時代に、進化しつづける美を届ける。
肌には、肌のプロテイン。まっさきに、ポーラから。

ポーラ リンクルショット
ジオ セラム プロティアン 誕生。

※肌：角層のこと ※表情圧：表情の動きによって肌にかかる力 ※表情をサポート：角層の柔軟性のこと ※満ち満ちた：うるおいによる
※肌には、肌のプロテイン：肌にプロテインが大切な時代が到来すること

POLA

Wrinkle shot

新発想。肌にもプロテインの時代へ。

豊かな表情をサポート^{*1}し、

たくましく満ち満ちた^{*2}肌を目指す、プロテイン配合^{*3}美容液

『リンクルショット ジオ セラム プロティアン』誕生

リンクルショットブランドは、世界中の人々に、
明るい未来を届けたいという想いで20年以上、独自の研究を続けています。

私たちは、誰もが感情のままに、いきいきとした豊かな表情で過ごすことで、
自信が湧き、活発なコミュニケーションが生まれる社会を目指しています。

そこで今回、新たに着目したのが、「肌^{*4}のプロテイン密度^{*5}」です。

新発想。肌にもプロテインの時代へ。

プロテイン配合の美容液「リンクルショット ジオ セラム プロティアン」は、
表情圧^{*6}に着目した業界初の処方「モーションフィットベール」を採用。

豊かな表情をサポートし、たくましく満ち満ちた肌を目指します。

2023年1月1日発売

リンクルショット ジオ セラム プロティアン

販売名:ポーラ WRS セラム N

【医薬部外品】(美容液)

40g ¥11,000(税抜 ¥10,000)

リフィル 40g ¥10,450(税抜 ¥9,500)

- ・アレルギーテスト済み(全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません)
- ・乾燥による小じわを目立たなくします。(効能評価試験済み)
- ・有効成分:グリチルリチン酸2K(肌アレを防ぐ)

【名称】ジオ(GEO):土台 プロティアン(PROTEAN):多様な、変幻自在な、変化し続ける
表情を思いのままに表現してほしいという願いを込めています。



ブランドデザイン

ロゴは、積極的に肌を変えようとするすべての人に真摯に応える、ブランドの強い意思を込めた手書き風のサイン。カラーリングのテーマは、前人未到の星を発見する旅。宇宙のスペースブルー、旅立つ時の宇宙服をイメージしたチャレンジングオレンジを用いました。

※1:角層の柔軟性のこと ※2:うるおいによる ※3:複合保湿成分Sプロテインリキッドの構成成分である加水分解ローヤルゼリータンパク液
※4:角層 ※5:肌におけるタンパク質の量のこと。 ※6:表情の動きによって肌にかかる力のこと

POLA

肌^{※1}の「プロテイン密度」に着目

理論

NEW プロテイン・ダイナミズム理論

肌のプロテイン密度に着目。
豊かな表情をサポート^{※2}し、たくましく満ち満ちた^{※3}肌を目指す理論。

【プロテイン密度】肌におけるタンパク質の量のこと。

成分

NEW タンパク質(プロテイン)を含む、ポーラオリジナル複合保湿成分「Sプロテインリキッド^{※4}」を配合。

- ◆肌アレを防ぐ:有効成分グリチルリチン酸2Kを配合。
- ◆うるおいによるハリ感をサポート:ポーラオリジナル複合保湿成分「モーションSリキッド N」、ポーラオリジナル複合保湿成分「NEREリキッド N」、保湿成分「サクラ葉抽出液」を配合。
- ◆みずみずしい透明感をサポート:ポーラオリジナル保湿成分「YACエキス」「EGクリアエキス」を配合。

※1:角層 ※2:角層の柔軟性のこと ※3:うるおいによる ※4:ユキノシタエキス、ヒキオコシエキス-1、加水分解ローヤルゼリータンパク液のオリジナル複合成分

処方

肌^{※1}の表情圧^{※2}に着目。業界初の処方「モーションフィットベール」

伸び縮みする性質のベールが表情の動きにフィットすることを目指した、業界初の処方「モーションフィットベール」を開発し、採用しています。

〈表情に追従しない膜〉

膜が表情にフィットしない → 表情圧がかかりやすい
→ 膜が断裂

〈モーションフィットベール〉

伸び縮みする性質のベールが表情にフィット
→ 表情圧がかかりにくい → ベールが断裂しにくい

真上から膜の厚さを測定した画像

実験方法

真上から膜の厚さを測定した画像

実験方法

人工皮革上に塗膜を作製し、折り曲げて一定荷重をかけた後、戻した状態を3次元形状測定機にて撮影し、亀裂・折り目の有無を評価した。

(ポーラ化成工業 研究所調べ)

※1:角層 ※2:表情の動きによって肌にかかる力のこと

Wrinkle shot

[製品特長]

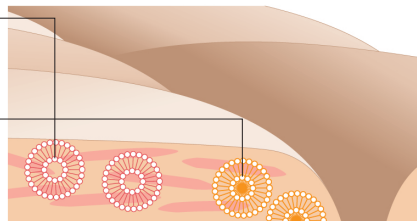
処方

肌^{※1}のすみずみまで美容液を届ける「プロティアン ショットデリバリー処方」

保湿成分配合の美容液を肌のすみずみまで届けるため、プロティアン ショットデリバリー処方を開発し、採用しています。

浸透^{※2}ナノカプセル
細胞間脂質を整え浸透ルートを作る

ダイレクトモーションカプセル
保湿成分配合の美容液をすみずみまで届ける



※イラストはイメージです
※1:角層 ※2:角層まで

感触

やわらかさとハリ感を両立した膜感が、表情にフィット

クリーム状の美容液が、顔のすみずみに心地よく伸び広がる軽やかな感触。
やわらかさとハリ感を両立したベールが表情にフィットし、うるおいで満たされた
むっちりとした肌を目指します。

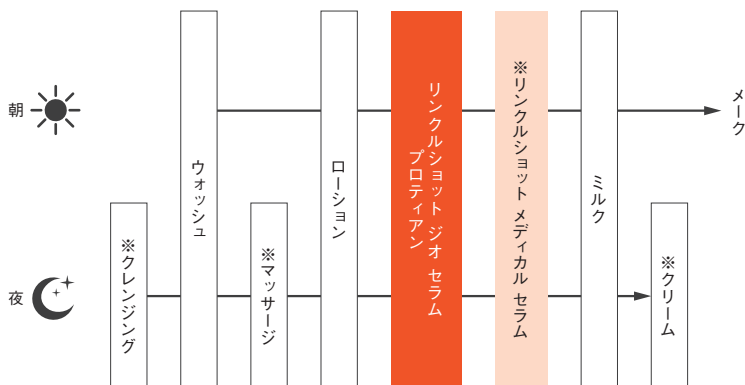


使用方法

- キャップは回さずに、上に引っ張って開けてください。
- ローションで肌を整えた後、顔全体にやさしくなじませてください。
- 顔全体で1～2プッシュがご使用量の目安です。肌の状態に合わせてご使用量を調整してください。
- 残りが少なくなって美容液を出す際は容器を傾けすぎないように立ててお使いください。



使用ステップ



※肌の悩み・状態に合わせてお使いください。クレンジングは、メイク・UVカット品使用時は必ずお使いください。

[製品特長]

社会・地球環境への取り組み

商品外箱



生物由来のインクを採用

生物由来の資源(バイオマス)から成分を抽出して製造したインクを一部使用し、箱への印字を行うことで、生態系の保護に繋げる。

森林認証紙を採用

適切な森林管理のもとに作られた木材を使用した、森林認証紙を採用。

容器



リフィル対応

廃棄物削減への取り組みの一環として、リフィル対応容器を採用。さらなる環境保全に繋げる。

パンフレット



WEBパンフレットを採用

ペーパーレスへの取り組みとして、紙のパンフレットを廃止し、箱に記載されたQRコードを読み込むことで使用方法、全成分表示が閲覧可能なWEBパンフレットを採用。

※使用方法・使用量などは外箱にも記載があります。
※5言語対応(日本語・英語・繁体字・簡体字・タイ語)

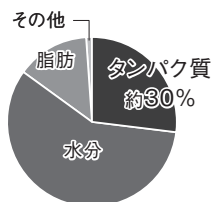
主な配合成分

配合目的	配合成分	全成分表示名称
有効成分 ^{*1}	グリチルリチン酸2K	グリチルリチン酸2K
保湿成分	Sプロテインリキッド ^{*2}	ユキノシタエキス、ヒキオコシエキス-1、加水分解ローヤルゼリータンパク液
	モーションSリキッド N ^{*2}	ゲンノショウコエキス、ワレモコウエキス、センブリエキス、オウバクエキス、ヤグルマギクエキス
	NEREリキッド N ^{*2}	油性桃葉エキス、スギナエキス
	YACエキス ^{*2}	ヨモギエキス
	EGクリアエキス ^{*2}	レンゲソウエキス
	サクラ葉抽出液	サクラ葉抽出液

※1: 肌アレを防ぐ医薬部外品成分 ※2: ポーラオリジナル成分、もしくはオリジナル複合成分
・無香料 ・アレルギーテスト済み(すべての方にアレルギーが起きないというわけではありません) ・乾燥による小じわを目立たなくします。(効能評価試験済み)

新習慣「プロテイン美容」

ポーラは、誰もが感情のままにいきいきとした豊かな表情で過ごすことで、自信が湧き、活発なコミュニケーションが生まれる社会を目指しています。この度、新しい習慣として、「プロテイン美容」を提案します。プロテインとはタンパク質であり、人のからだを構成し、生命の軸ともいえるような重要な成分。髪や爪をはじめ、肌を構成するコラーゲン、エラスチン、血管、細胞の一成分、酵素などもすべて「タンパク質＝プロテイン」からできています。美容のために運動をして体をメンテナンスするように、肌においてもプロテインを作り、守る習慣が大切であると考えます。



表情の動きによって肌にかかる力のことを、ポーラでは表情圧と呼びます。表情圧がかかった表情ジワ部分の肌は折れ曲がり、圧縮されています。例えば右の図にあるように笑顔の場合は口もとに30gの表情圧がかかる一方で、しかめた顔では眉間部分に70gの表情圧がかかっています。表情圧がかかると、ダメージを受け炎症が起きます。炎症が起きると、キズと勘違いした免疫細胞「好中球」が、炎症を受けた真皮部分を分解しようとしてシワの原因である酵素「好中球エラスターゼ」を発生させ、シワにつながります。

笑顔

口もと部分に30gの表情圧がかかる。
⇒手のひらに2ℓのペットボトルを2本乗せた時の圧力に相当。



しかめた顔

眉間部分に70gの表情圧がかかる。
⇒手のひらに2ℓのペットボトルを4本乗せたときの圧力に相当。



※表情圧はいずれも1cm当たり ※スキングリップメーターを使用し、無表情時と表情をつかった時の表情圧を測定。被験者4名の平均値。 (ポーラ化成工業 研究所調べ) ※イラストはイメージです

新着目

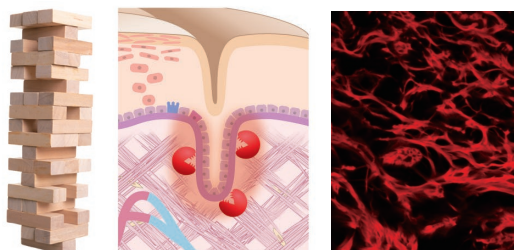
肌の「プロテイン密度^{※1}」

ポーラは今回、新たに肌の「プロテイン密度」に着目しました。

プロテイン密度：肌全域におけるタンパク質の量
肌全域：角層、表皮、真皮
タンパク質：コラーゲン、エラスチン、血管、細胞の一成分、酵素など

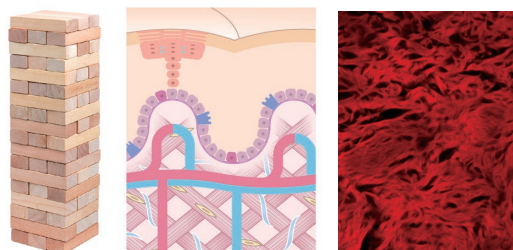
プロテイン密度の高い肌と低い肌を比較すると、プロテイン密度の低いスカスカの状態では、表情圧がかかった際、少ないタンパク質で受け止めなければならず負荷がかかるため、炎症が生じやすく、シワができやすいと考えられます。一方、プロテイン密度が高い状態では、多くのタンパク質で受け止められるので、負荷がかかりにくく、炎症が生じにくく、シワができにくいと考えられます。

〈 肌全域のプロテイン密度が低い肌 〉



表情圧を受けやすく、炎症が起き、シワができやすいと考えられる

〈 肌全域のプロテイン密度が高い肌 〉



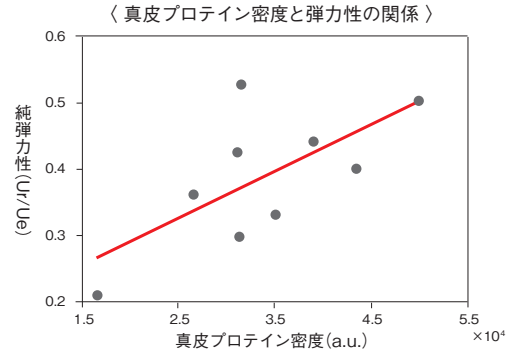
表情圧を跳ねのけ、炎症が起きにくく、シワができにくいと考えられる

赤色の部分：真皮のプロテイン

(ポーラ化成工業 研究所調べ) ※画像はイメージです
※1：肌におけるタンパク質の量のこと。

真皮のプロテイン密度が高いほど肌の弾力性が高まる

右のグラフは、真皮のプロテイン密度と肌の弾力性に相関性があることを示すデータです。
真皮のプロテイン密度が高いほど、肌の弾力性が高まり、表情圧を跳ねのける力が期待できます。



真皮プロテイン密度：皮上層部のプロテイン密度/皮フの厚さ
純弾力性：粘性変形を除いた皮フの弾性のことで、「Ur(即時収縮)」と「Ue(即時伸長)」の比で表される。値が1(100%)に近いほど、皮フの弾力性がより高いことを示す。

n=9、ピアソンの相関係数(r)=0.677、p<0.05
※ヒト皮フ組織の真皮プロテイン密度と純弾力性(Ur/Ue)を測定し、両者の相関解析を行った。

(ポーラ化成工業 研究所調べ)

新着目

プロテイン密度のカギ：細胞内の小胞体

今回ポーラは、肌全体のプロテイン密度のカギである、細胞内の小胞体に着目しました。

小胞体：タンパク質の製造・品質管理をする工場。核から指令を受け、カラダにとって非常に重要なタンパク質を作り出し、正常な構造に整える細胞内の器官。

食事から摂取したタンパク質の多くは、アミノ酸に分解された後、小胞体にて改めてタンパク質となり、正常な構造をとります。そのため、小胞体はタンパク質産生過程において、最も重要な器官です。

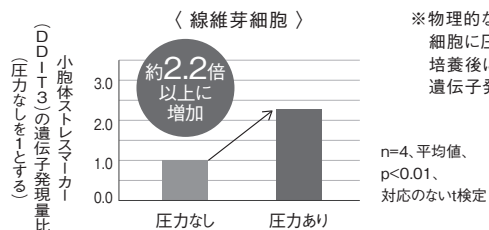
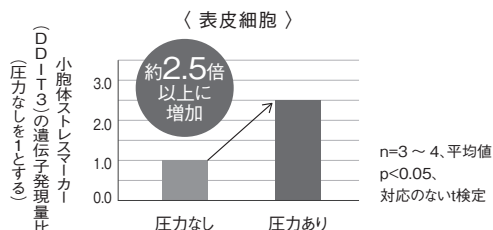


※画像・イラストはイメージです

新発見

表情圧がかかると肌の細胞に小胞体ストレスが発生

ポーラは、肌に表情圧がかかると、肌の細胞に小胞体ストレスがかかることを発見しました。小胞体ストレスとは、小胞体がストレスを受けることで、タンパク質が正常に整えられず小胞体に蓄積し、細胞に悪影響を及ぼす状態になることです。こちらのグラフでは、表皮細胞、線維芽細胞に表情圧を模した物理的な収縮をかけた際、小胞体ストレスが発生していることを示しています。

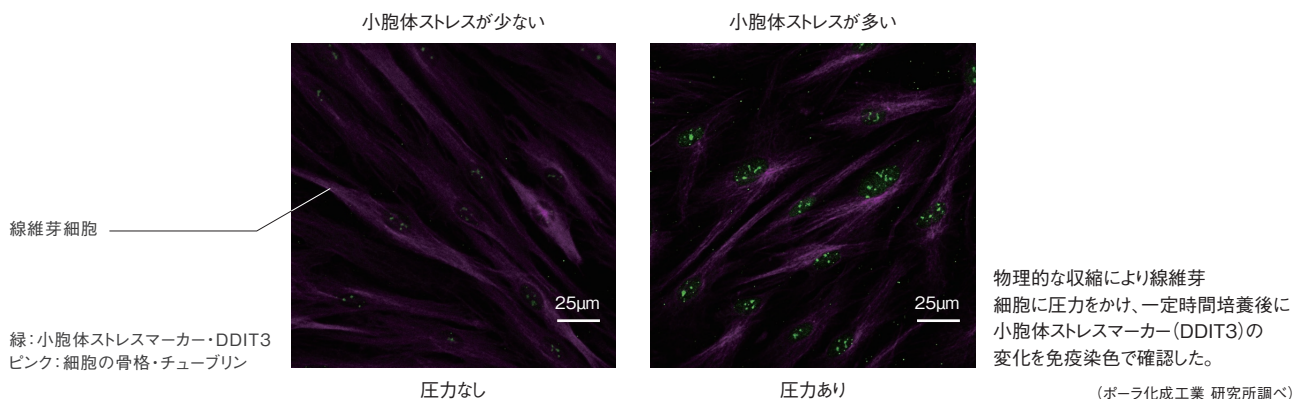


※物理的な収縮により細胞に圧力をかけ、一定時間培養後に小胞体ストレスマーカー(DDIT3)の遺伝子発現量を測定。

(ポーラ化成工業 研究所調べ)

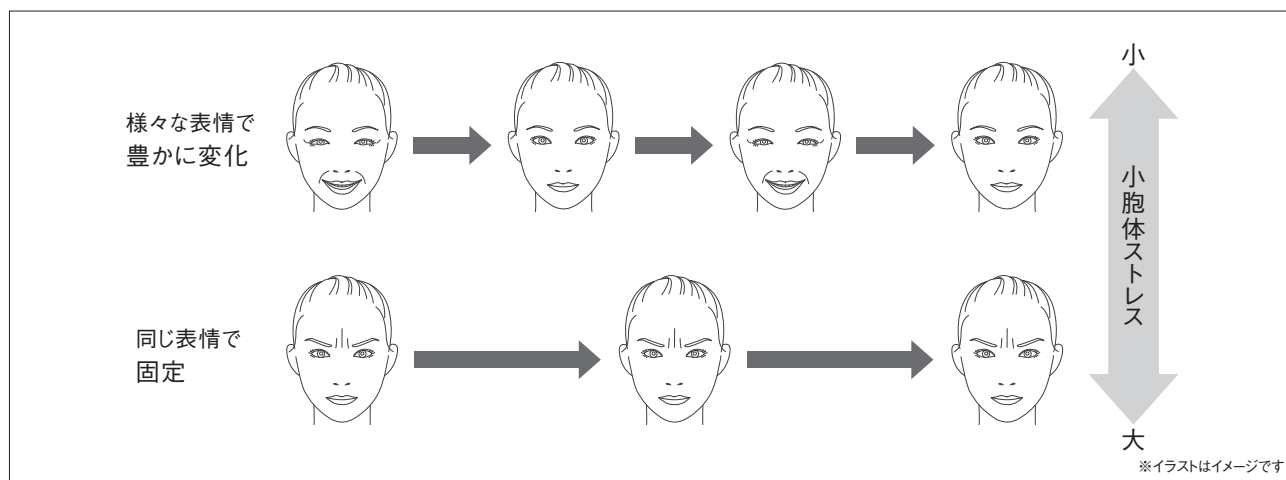
[参考資料 / ポーラの研究]

下の画像は、表情圧がかかることによる細胞への影響を示す画像です。緑の部分が小胞体のストレスマーカー（小胞体にストレスがかかると生じる物質）を表しています。線維芽細胞に圧がかかると、小胞体ストレスがかかることが示唆されます。



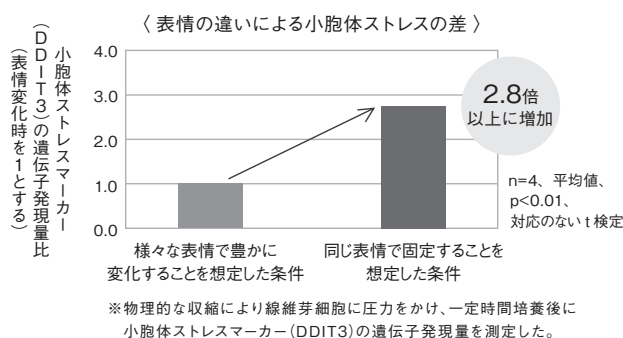
表情の違いによる小胞体へのストレスの差

今回の研究で、様々な表情を取るより、表情をつくったまま固定する方が、表情圧の影響が大きくなり、より小胞体ストレスが高まることもわかりました。現代は、生活に欠かすことのできないスマホやPC作業によって、表情が固定されている時間が長く、小胞体にストレスがかかりやすい状態になっていると考えられます。また、気づかない内に眉間にシワが寄っていたりと、無意識に小胞体にストレスをかけている可能性があります。



右のグラフは、表情の違いによる小胞体ストレスの差を示したものです。

同じ表情で固定することを模した圧力をかけた細胞の方が、様々な表情を想定して圧力をかけた細胞に比べ、約2.8倍以上、小胞体ストレスマーカー量が高くなることがわかりました。

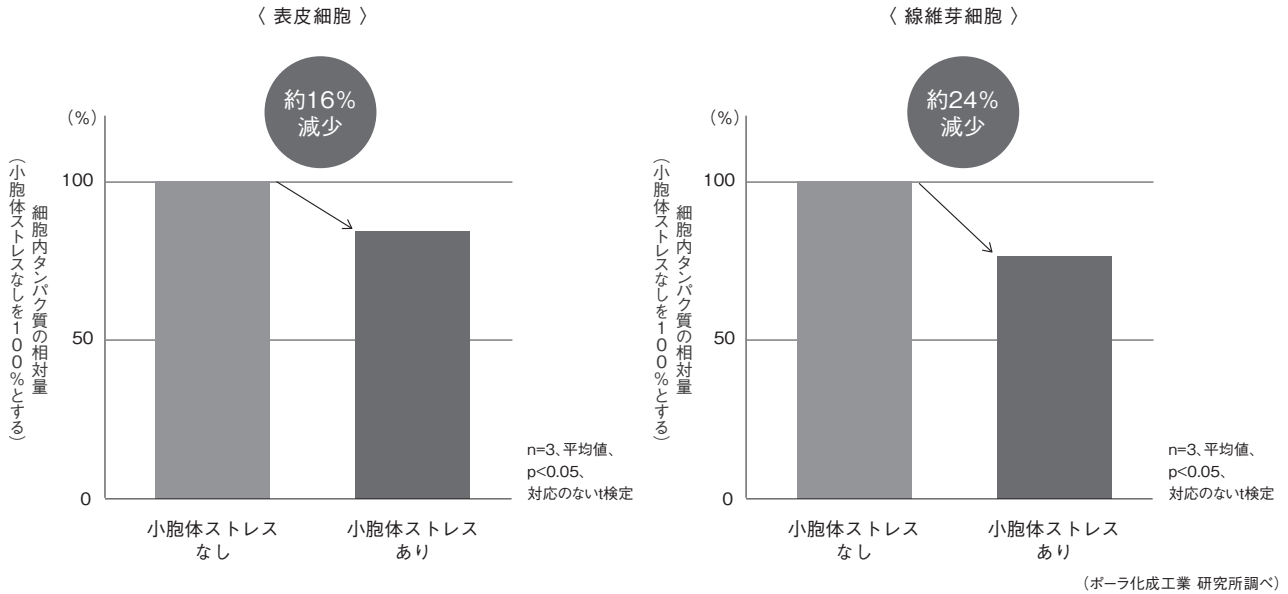


(ポーラ化成工業 研究所調べ)

新発見

小胞体ストレスは、肌の細胞のタンパク質産生量を低下させる

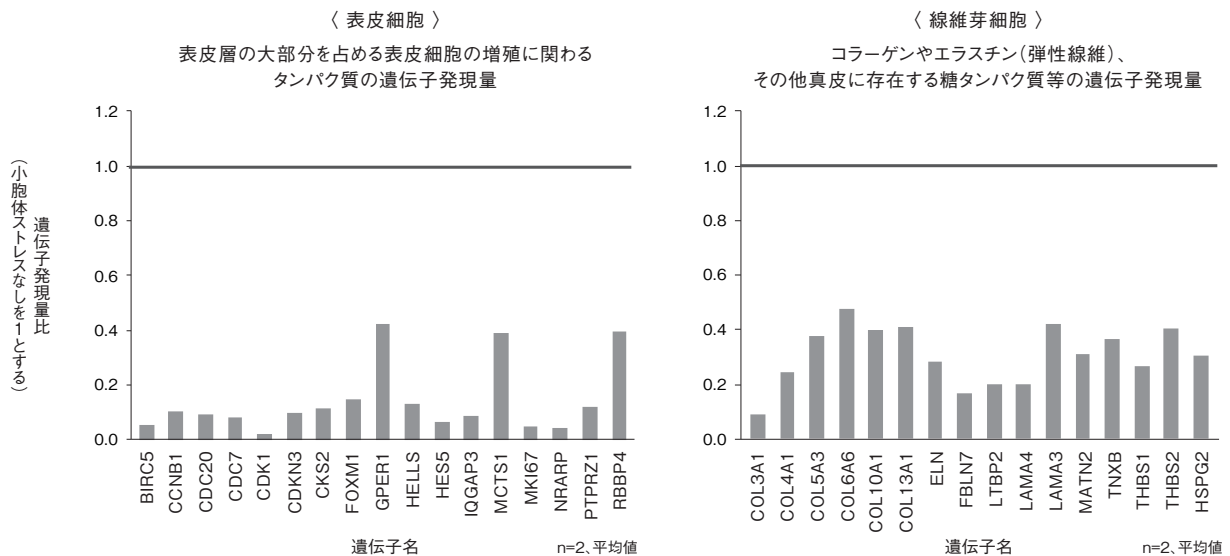
さらに研究を進めていくと、ストレスのかかった小胞体では、表皮細胞・線維芽細胞内のタンパク質の産生量が低下することも発見しました。



小胞体ストレスあり: 細胞に小胞体ストレス誘導剤(ツニカマイシン)を添加し、一定時間培養後に細胞当たりの総タンパク質量を測定した。

小胞体ストレスが発生すると、肌の細胞における様々なタンパク質の遺伝子発現量が低下

小胞体ストレスが発生すると、表皮細胞・線維芽細胞におけるタンパク質の遺伝子発現量が低下することもわかりました。



※細胞に小胞体ストレス誘導剤(ツニカマイシン)を添加し、一定時間培養後に網羅的な遺伝子発現解析を行った。

(ポーラ化成工業 研究所調べ)